令和６年度文化庁委託事業 劇場・音楽堂等基盤整備事業

全国劇場・音楽堂等職員 アートマネジメント研修会

対面開催 サマーセミナー

5年ぶりの集合研修！ 神戸で会いましょう！

【開催日】 **令和６年 ９月１０日(火)・１１日(水)**
【会　場】 **神戸市立中央区文化センター 多目的ルーム**
（〒650-0031 神戸市中央区東町115番地）
【主　催】 文化庁／公益社団法人全国公立文化施設協会
【共　催】 公益財団法人神戸市民文化振興財団
【参加費】 無料
※本セミナーのオンライン配信（ライブ配信・アーカイブ配信）はございません

●受講申込　令和6年7月16日(火)～9月3日(火)　※定員(各日100名)に達した場合は受付終了
研修会ウェブサイト(https://www.zenkoubun.jp/arts_management/)で詳細をご確認の上お申込みください。

●問合せ先　全国公文協 全国アートマネジメント研修会担当
☎ 03-5565-3030　✉ art@zenkoubun.jp

1日目 ９月10日(火)　10：40 受付開始

▶▶▶ 劇場・音楽堂等の組織と人を考える

11：00～11：10	開会
11：10～12：20	― 基調報告 ― **劇場・音楽堂等は将来を担う職員にとって魅力的な職場となっているか？** ～「令和５年度 劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査」および他業界との比較を元に～ 「令和５年度 劇場・音楽堂等の職員の就労状況等に関する調査」では、労働条件・労務環境、離職等の観点から特定条件の施設、職員にアンケート調査を行いました。本講座ではこの結果を他業界（政府統計等）とも比較しながら、劇場・音楽堂等が将来を担う職員にとって魅力的な職場となっているかどうか、また、状況を改善するための突破口について考えたいと思います。 講　師： 綿江 彰禅　(一社)芸術と創造 代表理事 岸 正人　(公社)全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長
(60分)	― 休憩 ―
13：20～14：50	― マネジメントに役立つ「思考習慣」― **本質思考超入門**　誰もがハマってしまう９つの思考のワナを回避する／本質把握力を鍛える 指示や提案がうまく伝わらなかったり、悪気はないのに何かとこじれてしまったり、頑張っても成果が出なかったりする状況は、「思考のワナ」が原因かもしれません。誰もが陥りやすい「思考のワナ」を理解し、脱出法を学び、ワナにハマらないための力を鍛えるヒントを紹介いたします。生活の質を高めることに繋がります。 講　師： 米澤 創一　慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 特別招聘教授
(15分)	― 休憩 ―
15：05～16：35	― 何がキーポイントか ― **劇場・音楽堂等でキャリアを積んでいこう**　～女性も、誰もが、働きたい職場として～ 今回の就労状況調査によると、劇場・音楽堂等の職員では40代以下は女性が多く、50代以上では男性が多い結果となりました。女性の就労継続には劇場特有の問題もあるのでしょうか。また誰もが劇場でキャリアを重ねていくにはどのような環境、及び個人のプランが考えられるのでしょうか。劇場・音楽堂等の人材状況に詳しい研究者と現場最前線の管理職と共に議論します。 ﾓﾃﾞﾚｰﾀｰ： 森岡 めぐみ　(公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター ｺﾒﾝﾃｰﾀｰ： 梶田 美香　名古屋芸術大学 教授・学長補佐 和田 大資　(公財)箕面市メイプル文化財団 芸術創造セクションマネージャー
16：35～16：40	閉会
16：40～17：10	★情報交換会（自由参加／飲食無し）

2日目　9月11日(水)　9：30 受付開始

▶▶▶ 備えは万全ですか？　劇場・音楽堂等における災害対策

9：45～11：45 （途中休憩あり）	― いざという時のための体制づくり ― **災害対策（地震、水害）とＢＣＰ作成の実践　～雛形を活用してＢＣＰを作成する～** 過去の災害事例を踏まえた自然災害(地震、水害)への対応策の基本、災害対策本部の運営方法、ＢＣＰ（事業継続計画／業務継続計画）作成について解説します。また、持ち帰ってすぐに作れることを目標に、雛形を活用したＢＣＰの作成方法を紹介します。本講演に続く名取市文化会館の災害対策の実践事例と連動した内容となります。 講　師：　本間 基照　（公社)全国公立文化施設協会 コーディネーター 事例紹介：　石山 翔子　（公財)名取市文化振興財団 事業企画係
（10分）	― 休憩 ―
11：55～12：55	― 施設の備え ― **劇場・音楽堂等の災害対策について** 劇場・音楽堂等は、文化芸術の場であると同時に人々が集い絆を形成するための場です。万が一には地域の人々に頼りにされる場でもなければなりません。しかし、近年相次ぐ自然災害には不安が募ります。そこで、改めて日本の国土条件、気候条件、土地利用などを振り返りながら、それへの備えについて考えてみたいと思います。 講　師：　本杉 省三　（公社)全国公立文化施設協会 アドバイザー
12：55～13：00	閉会

―登壇者紹介―

1日目 劇場・音楽堂等の組織と人を考える

綿江彰禅　Akiyoshi WATAE
一般社団法人 芸術と創造　代表理事

2006年名古屋大学大学院経済学研究科修了。2006年に株式会社野村総合研究所に入社し、官民のマーケティングや組織設計に関するコンサルティングに従事。2014年慶應義塾大学大学院文学研究科修了、2016年に独立。現在、一般社団法人芸術と創造代表理事。
政府や地方自治体を対象とした文化政策・産業政策および文化団体の運営に関するコンサルティングを行う。これまでの担当事業は100を超える。
詳細はhttp://www.pac.asia/watae.html参照。

米澤創一　Soichi YONEZAWA
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科
特別招聘教授

元アクセンチュア株式会社マネージングディレクター。約27年のキャリアでは、DXに関係する組織の統括、教育責任者、品質管理責任者、グローバル組織における教育責任者、などを歴任。2008年の慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（SDM）設立時から教鞭をとっている。プロジェクトマネジメントと心理学等を融合させ、より人間中心のプロジェクトマネジメントを研究すると同時に、プロジェクトマネジメントスキル、本質把握力を活かし、豊かで幸せな人生を送るための極意を追究し続けている。

森岡めぐみ　Megumi MORIOKA
公益社団法人 全国公立文化施設協会
コーディネーター

神戸市民文化振興財団（指定管理：神戸文化ホール）音楽事業部長。1989年住友生命いずみホールの開館準備室に入り、以来2021年まで同館で接遇、営業、広報、企画制作、資金調達、海外交渉、情報誌編集長等を担当。2021年に転職により現職。『クラシック・コンサート制作の基礎知識』の「広報・宣伝」執筆。編著『礒山雅随想集・神の降り立つ楽堂にて』。2022年に劇場論で修士（学術）取得。日本音楽芸術マネジメント学会理事。神戸学院大学非常勤講師。

梶田美香　Mika KAJITA
名古屋芸術大学　教授・学長補佐

音楽大学を卒業後、演奏活動を展開。2002年から玉川大学で教育学を学んだ後、名古屋市立大学大学院で学ぶ。研究領域は、舞台芸術のラーニングプログラム研究、劇場やアウトリーチの人材養成研究等。文化行政の委員を歴任し現在は、名古屋市文化芸術推進評議会委員、長久手市文化の家運営委員長等。この他、アジア競技大会式典委員会委員長。
名古屋芸術大学学長補佐・舞台芸術領域主任・教授。名古屋大学非常勤講師。博士。

和田大資　Taisuke WADA
公益財団法人 箕面市メイプル文化財団
芸術創造セクションマネージャー

1977年神戸生まれ。同志社大学文学部卒業。伊勢丹を経て日本フィルハーモニー交響楽団へ転職。広報宣伝、営業、企画制作を担当。2012年帰郷。京都市音楽芸術文化振興財団にて京都コンサートホール主催事業を担当。2015年から箕面（みのお）市メイプル文化財団【大阪府】に勤務。2020年（同）芸術創造セクションマネージャー。文化振興と生涯学習を両輪に地域密着型マーケティングを実践中。「身近なホールのクラシック」プロデューサー。「まちのラジオ」パーソナリティ。

2日目 備えは万全ですか？劇場・音楽堂等における災害対策

本間基照　Motomitsu HONMA
公益社団法人 全国公立文化施設協会
コーディネーター

・関西大学社会安全学部　非常勤講師
＜主な著書＞
・大震災後に考えるリスク管理とディスクロージャー（共編著、同文舘出版、2013）他
＜支援実績＞
・劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援員
・「劇場・音楽堂等トラブル対応ハンドブック2017」（2017.3）編集委員
・「地震だ!! どうする!? 劇場・音楽堂等 震災対応ハンドブック」（2018.3）編集委員
・「劇場・音楽堂等感染症基本対応チェックブック」（2020.11）監修

石山翔子　Shoko ISHIYAMA
公益財団法人名取市文化振興財団 事業企画係

本杉省三　Shozo MOTOSUGI
公益社団法人 全国公立文化施設協会
アドバイザー

日本大学名誉教授。2019年まで日本大学理工学部教授・特任教授。1981～83年ベルリン自由大学、この間ベルリン・ドイツオペラ及びシャウビューネ劇場で実地研究・実習。文化施設の構想・計画、設計者選定を務めると共に、シアターコクーン、新国立劇場、愛知芸術文化センター、なら100年会館、ピッグハート出雲、Kunstlinie Almere、まつもと市民芸術館、台中國家歌劇院、鶴岡市文化会館等設計に関わる。主な著書「劇場空間の源流」、「劇場・コンサートホール」等